

願いが実現

# 「松竹住宅～江南団地～厚生病院」に名鉄バス路線

## いこまいCAR定期便は廃止



交通体系等検討委員会の第一段階の検討が終わり、江南駅から松竹住宅、江南団地を経由して厚生病院への名鉄バス路線が来年4月から実現することになりました。地域のみなさんや老人クラブ、日本共産党などが力をあわせ、繰り返し署名運動や要請行動などに取り組んできた成果です。

新路線は、乗客数が少ない場合は見直される計画です。利用を伸ばし、より良く改善させる取り組みも必要です。

また今後は第二段階として、犬山線東側地域など公共交通空白地域の総合的な交通体系の検討が始まります。巡回バスの運行、いこまいCAR 予約便の料金引き下げ、福祉タクシーの利用年齢引き下げなど、積極的な施策が求められます。

### 江南・大口・扶桑の共同で、相互乗り入れできる コミュニティバスを走らせましょう

#### 「江南から大口・扶桑へ呼びかける」と答弁

「大口町の巡回バスを江南厚生病院まで走らせてほしい」と、大口町で日本共産党が中心に署名運動を展開。大口町長は「町単独の運行は難しいが、近隣市町から協議があれば積極的に参加する」と町議会で答弁しました。

日本共産党市議員団は、「この機を逃さず、江南・大口・扶桑の1市2町共同の、相互乗り入れ可能なコミュニテ



写真は、大口町巡回バス

#### 実現する具体的な内容

- 現在の名鉄バス団地線(江南駅⇄江南団地)を分割、一部を江南駅⇄東野交番⇄松竹住宅⇄江南団地間を走らせる。
- 新団地線の一部を厚生病院まで延長。(朝8時から夕5時までで1時間に1便)
- 江南駅⇄厚生病院間を、すいとびあ江南まで延長。(1時間に1便)
- 現在運行している、松竹住宅⇄市役所、厚生病院⇄すいとびあ江南間の「いこまいCAR 定期便」は廃止。
- 料金、ダイヤ、停留所などは来年1月頃までに決定する。

ィバスの実現に向け働きかける」よう求めました。共同できれば、効率的・効果的な運行が可能です。

市当局から、「各市町の公共交通に対する温度差もありなかなか難しいが、検討課題のひとつなので、大口町、扶桑町に対し江南市の方から協議を呼びかけていく」との答弁がありました。

### おかしいぞ！ 江南市政

## ムダづかい止めよ、きびしさ増す市民のくらし応援を

9月定例議会。日本共産党議員団はH23年度一般会計決算認定など2議案に反対、17議案と請願1件、意見書2件に賛成しました。

#### 他市に比べ大幅に遅れた子どもの医療費無料化

子どもの医療費無料化の拡充(右グラフ参照)や子宮頸がんワクチンなど予防接種の無料化は、他市に比べて大きく遅れ先延ばしにされています。一方、貯金である財政調整基金は約22億円と10年前の2倍。(右端グラフ) あいつく増税で市民生活が厳しさを増す中、暮らしを応援する施策の推進が求められます。

#### ムダな道路拡幅と名鉄いいなり

また緊急性・必要性のない事業に巨額のムダづかい。布袋本町通り線はわずか70mの区間の拡幅に、総額11億円を予定しH23年度は1億2826万円。布袋保育園西側の、拡幅する必要のない道路のために総額1億6900万円を予定し、H24年度には4700万円が支出されます。これではいくらお金があっても足りません。

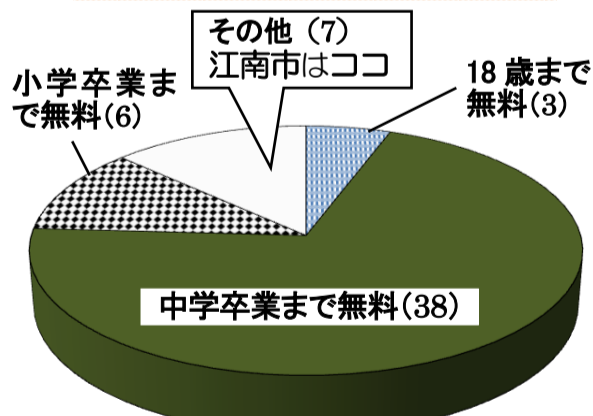
名鉄に対しては、集中豪雨で故障したエレベーターの復旧工事費183万円余を市が負担。布袋南部区画整理事業では、名鉄は負担分6680万円の協議にも応じようとしません。毅然とした姿勢で名鉄と交渉に臨むべきです。

#### 大幅な黒字続く水道事業、料金値下げを

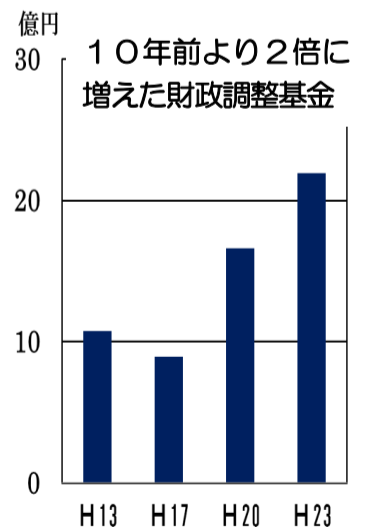
水道事業は、毎年大幅な黒字つづき。H23年度は料金収入の約1.5か月分に相当する、約1億5000万円もの純利益を出しました。適正な水道料金に値下げし、市民に還元するべきです。



\* 江南市は小学3年生まで無料。  
4～6年生は1割負担(償還払い)



子どもの医療無料制度(通院)の実施状況 (県下54市町村)



#### 「県の福祉医療、後退ダメ」意見書提出

愛知県は、子ども・障害者・母子父子家庭等の福祉医療制度を見直し、対象者の削減、一部自己負担や所得制限の導入など、制度を縮小しようと検討しています。

県に対し、現在の福祉医療制度を堅持し、さらに一層拡充するよう意見書を提出しました。